

令和4年度 江戸川区立西小松川小学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標	○考える子 ○やりぬく子 ○明るい子 『自分事として捉え、人や場とつながる児童を育む学校』 ～共通理解を図り、繰り返し取り組むことを通して～	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○信頼される学校 ○学ぶ喜びを知る児童の育成 ○良さや可能性を伸ばす教育の推進
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>・「道徳」の校内研究を通じた、教員一人一人の授業力向上。・若手教諭の人材育成や児童指導力や保護者対応力の向上。 ・巡回指導等の関係機関との連携の深化と指導力の向上。 <課題>・ICTの積極的活用と情報教育についての共通理解。 ・要配慮児童への共通理解に基づいた円滑な対応や健全育成を図るための関係機関との連携。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		来年度に向けた改善策	
					取組	成果	成果と課題	評価		コメント
いさいきと学ぶ学校づくり	確かな学力の向上	7つの主な事業(取組)に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・全校漢字計算テストの実施と分析 ・委託業者による放課後補習教室の実施 ・eライブラリの活用 ・にしこスタンダードを活用した授業改善	・漢字テスト、算数ベーシック診断テスト全員実施と分析…年間3回 達成率8割以上 ・各学年級4～5名の児童を対象に、毎週1回放課後補習教室を実施 ・eライブラリの活用…全学年 ・月1回の学力向上委員会において、にしこスタンダードの見直しと改善を図る	B	B	○ベーシック診断テストの継続的な活用と各学年平均点、達成率の向上 ○各学年における毎週のeライブラリの活用が9割5分以上 ●放課後補習教室における委託業者との連携と課題の共有 ●にしこスタンダードの徹底と各学年の実態に応じた改善	B	・児童の基礎的・基本的な学力を身に付けさせる努力をしている。 ・eライブラリの効果的な活用をお願いしたい。 ・放課後補習教室における委託業者との連携を深めるため、担当教員を中心にこまめに打ち合わせを行う。 ・家庭学習と連携し、予習・授業・復習の学習サイクルの定着を図らせる。	・ベーシックテストの平均点9割以上、達成率ともに8割5分以上を目指す。 ・eライブラリの活用は10割を目指す。 ・放課後補習教室における委託業者との連携を深めるため、担当教員を中心にこまめに打ち合わせを行う。 ・家庭学習と連携し、予習・授業・復習の学習サイクルの定着を図らせる。
	体力の向上	「運動意欲の向上」に向けた取組の実施・充実	・体育学習スタンダードを活用した授業改善 ・運動遊びの計画的な実施 ・短縄、長縄、ランニング月間の実施	・体育学習における校内研修を年3回実施する。 ・運動遊びを毎週1回実施 ・短縄、長縄、ランニング月間の実施…各年間1回(期間:1か月程度) ・月1回の体力向上委員会において、体育学習スタンダードの見直しと改善を図る。	B	B	○全校共通の準備運動、整理運動の確実な実施とそれぞれの運動の細かな共通理解 ●新型コロナウイルス感染症対策を講じた各領域での運動内容の工夫、持続性 ●体育学習スタンダードの内容の精選と適し、全学級の定着	B	・体力向上を目指した、学習活動や運動内容の工夫をし、体育的な活動を充実させている。 ・新型コロナウイルスの感染症対策を講じて、日々の体育科の運動領域の幅を広げてほしい。	・体力向上委員会を中心に、新型コロナウイルス感染症対策を講じた運動内容を検討するとともに、通常の体育科の運動内容に少ずつ戻していく。 ・体育学習スタンダードの周知、全学級の定着を目指す。
	読書科の更なる充実	「読書を通じた探究的な学習の実施・充実	・総合的な学習の時間や各教科と関連させた、調べ学習等における図書資料の積極的な活用 ・購入した本を活用した計画的な実施 ・中央図書館による読み聞かせを全学年、年1回以上実施、保護者ボランティアによる本の読み聞かせの実施 ・月1回「今月の詩」を配布し、音読指導に生かす。 ・可書による国語科説明文に合わせた図書提供	・学習機能としての図書活用、児童の利用率の向上…全校児童の9割以上の利用 ・兄弟学年班によるなかし読書を年2回実施 ・中央図書館による読み聞かせを全学年、年1回以上実施、保護者ボランティアによる本の読み聞かせの実施 ・月1回「今月の詩」を配布し、音読指導に生かす。 ・可書による国語科説明文に合わせた図書提供	B	B	○兄弟学年班によるなかし読書を通して、読書に対する興味関心が一層高まり、児童の読書の幅が広がった ●調べ学習をする際、図書資料を利用することの良さを児童一人一人に実感させる工夫 →学校図書館の児童の利用率のさらなる向上 ●音読の効果的な指導方法と教材の精選	B	・タブレットだけでなく、図書資料を積極的に利用してもらいたい。 ・児童の読書活動に対する興味関心を一層高めてほしい。 ・保護者ボランティアの読み聞かせを実施したい。	・図書資料を活用した調べ学習など、読書科と関連させた総合的な学習の時間や各教科の年間指導計画の見直しを図る。 ・図書委員会を中心とした本の紹介活動等を通して、児童の図書館の利用率の一層の向上を図る。 ・音読の教材を見直し、「今月の詩」の効果的な活用を目指す。
特別支援教育の推進	共生社会の実現に向けた教育の推進	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進	・SC、巡回指導員、特別支援専門委員、専科と連携した児童理解に基づく掲示物の作成 ・かがやきについての計画的な紹介 ・個別指導計画に基づく指導力の向上 ・QUTテストの実施と分析	・巡回指導教諭と面談…年間3回実施 ・配慮を要する児童の個別指導計画の作成と改善…各学年1回 ・QUTテストの実施と分析、授業改善…年間2回実施 ・QUTテストの活用における校内研修の実施…年間1回実施	A	A	○巡回指導教諭、特別支援コーディネーター、心理士、担任、保護者との連携、面談の確実な実施 ○個別指導計画における、学期ごとの確かな児童の評価と改善 ●QUTテストの効果的な活用、共通理解を図るための校内研修の実施	A	・校内で共通理解が図られている。 ・相談体制が確立されていて、学校と家庭が連携できている。	・個別指導計画の丁寧な評価と改善について、巡回指導教員と検討する機会を学期に1回設ける。 ・QUTテストをどのように学級指導の改善、授業改善に生かしていくのか検討する機会を年2回設ける。
	子供たちの健全育成	・子供たちの健全育成に向けた取組 ・望ましい児童像の設定と周知	・月1回のいじめ防止対策委員会や生活指導夕食会による情報共有を行い、いじめや不登校の未然防止と早期解決に努める。 ・必要に応じて、ステップサポーターやSSW等の関係機関との連携	・生活指導夕食会の実施…毎週1回 ・いじめ調査の実施(年間3回) ・ステップサポーターやSSW等の関係機関との連携に関する校内研修…年1回以上 ・日常的なあいさつ、言葉遣いの指導	A	B	○生活指導夕食会における各学年の児童の細かな情報交換 ○いじめ調査の確実な実施と未然防止、早期解決を目指した指導 ●関連機関とのつなげ方に関する教職員の共通理解	A	・学校は家庭と連携をとって児童の健全育成に努めている。 ・放課後の遊び方や地域の方との関わりの方方に気を付けさせたい。	・関係機関とのつなげ方を共通理解し、保護者に積極的に発信し、相談しやすい環境づくりに努める。 ・よりよいあいさつや言葉遣いについて、児童自身の意識の向上を図っていく。
学校と家庭、地域、関係機関との連携強化	学校関係者評価の充実	視点を明確にした教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施・改善	・学校関係者評価委員会との連携、活発な意見交換 ・学校公開アンケートの実施・活用 ・外部アンケートの実施、活用	・学校関係者評価委員会…年間2回実施 ・学校公開アンケート…年間3回実施 ・結果の分析と教育活動の改善内容を年1回以上公表 ・外部アンケート…12月に実施、2月に結果を公表	B	B	○学校公開アンケートの効果的な活用 ●学校関係者評価の内容の教職員の共通理解	B	・アンケート内容の項目を精選してほしい。 ・データ入力におけるアンケートの実施に切り替えてほしい。	・教務部を中心に、アンケート内容の項目を検討し、保護者や地域の方の願いや意見を広く受け止められるようにする。 ・学校の指導目標の周知に努める。
	「学校における働き方改革プラン」	「時間内効率を意識した働き方改革プラン」に基づく取組の実施	・会議等の精選と学年会の充実、教材準備の時間の確保	・1か月の残業時間…45時間未満 ・1年間の残業時間…360時間未満 ・定時退勤日…週1回以上	B	B	○会議等の精選による教材準備の時間の確保 ●校務分掌における仕事の負担の偏り ●週1回以上の定時退勤の確実な実施	A	・働き方改革への意識が高まっている。	・校務分掌ごとに仕事内容を確認し合い、可能な限り業務量の均等化を図る。
特色ある教育の展開	マーチング活動の充実	マーチング活動の年間計画に基づく取組の実施	・マーチング委員会を中心に、計画的な活動の実施 ・全教職員で協力的児童への指導体制の確立	・マーチングの発表機会…年間2回 ・外部アンケートにおけるマーチング活動に対する肯定的な意見…9割以上 ・児童アンケートにおけるマーチング活動に対する肯定的な意見…9割以上	A	B	○朝の時間を活用したマーチング練習の充実と児童一人一人の主体性の高まり ○マーチング指導についての教職員の連携と共通理解 ●コロナ禍におけるマーチング活動の実施方法	B	・伝統のマーチングを児童が確実に引き継ぎようとして努力している。 ・発表の機会を増やしてほしい。	・コロナ禍における感染対策を講じたマーチング活動の実施と、発表の場の計画的な確保、1年生を迎える会、中央地域祭、運動会、学校公開など。